

商業出版と

自主出版

を比較

考察

してみたたら

創作同人電子書籍

のススメ

2026年

The Multiple-Cafe Presents



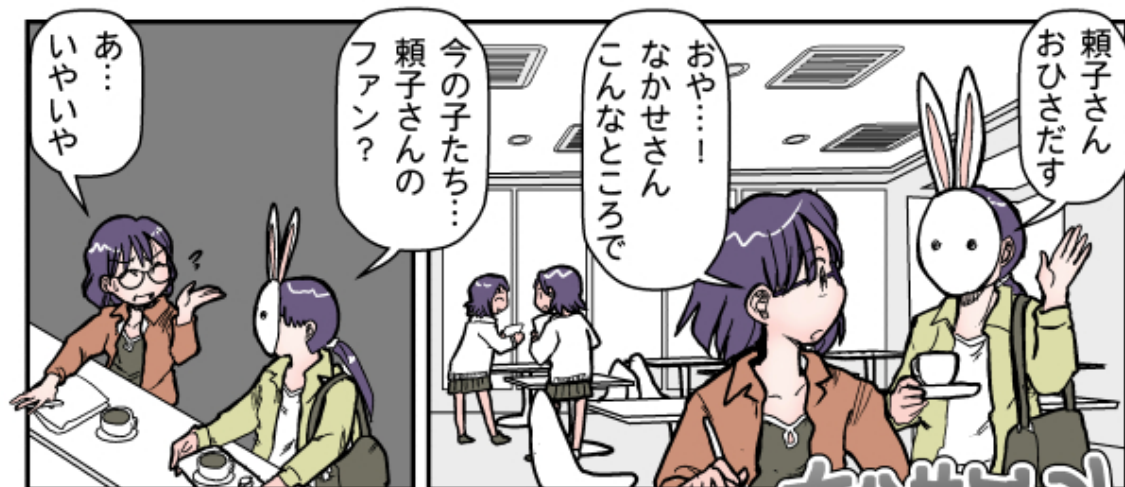
徒歩で5分の別世界 2

<目次>

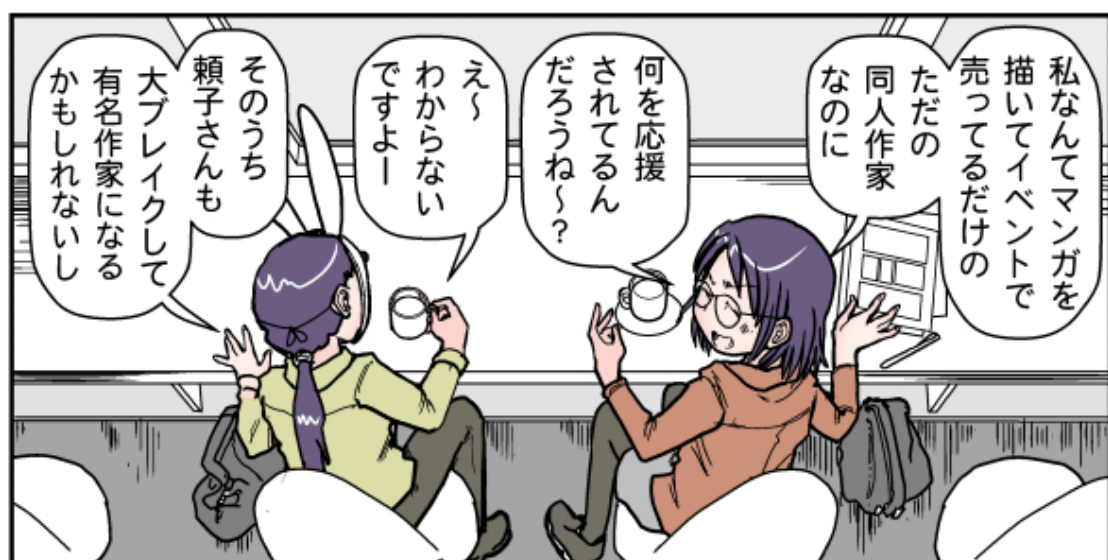
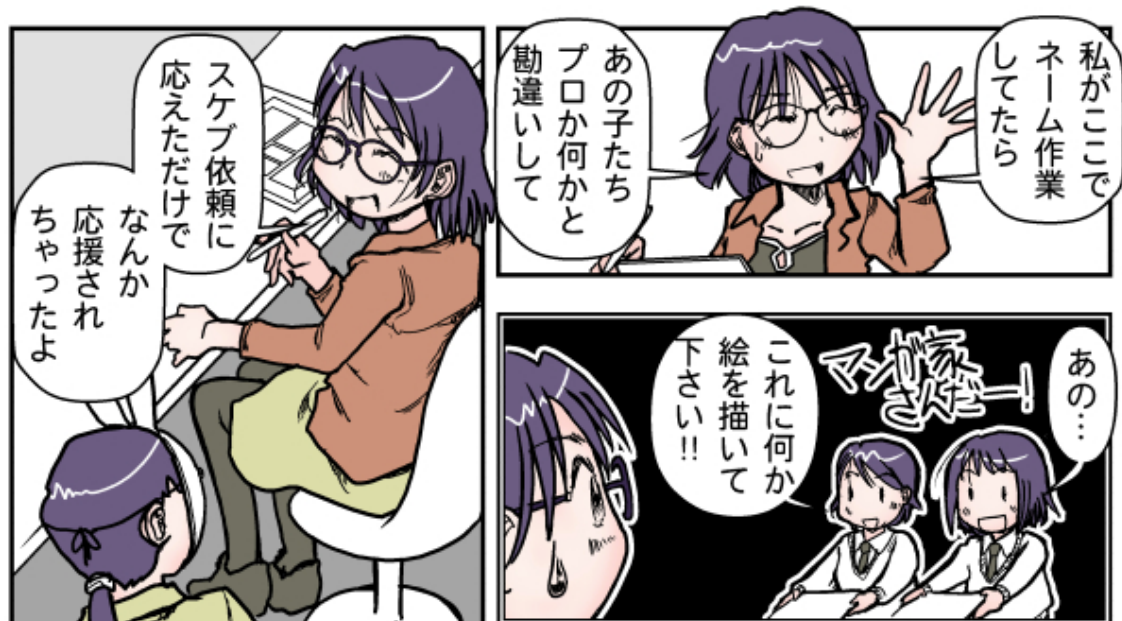
1 商業出版に並ぶ選択肢	… 3
2 商業展開の限界と利点	… 9
3 作品展開のルート選択	…16
あとがき・奥付	…25

サークルカット
2026年2月Comitia155用

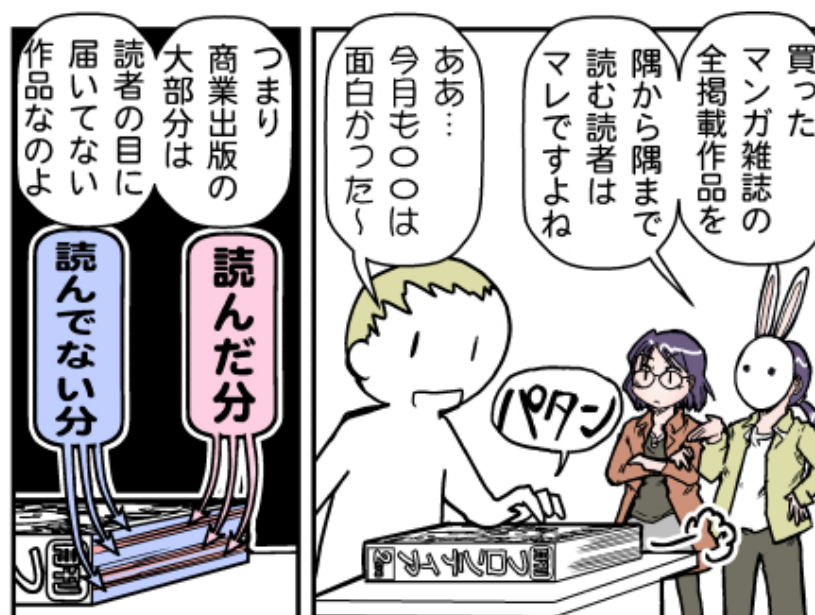


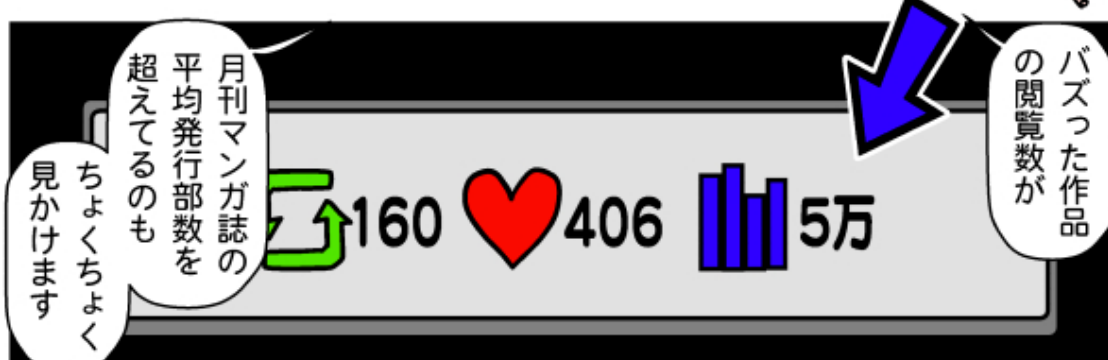
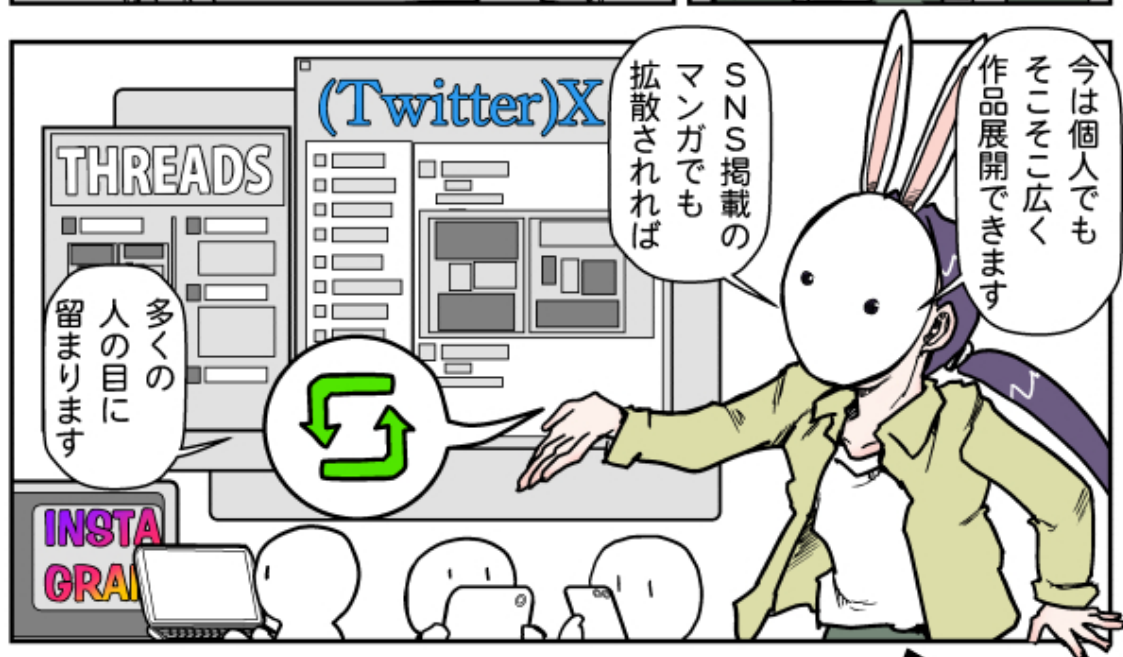


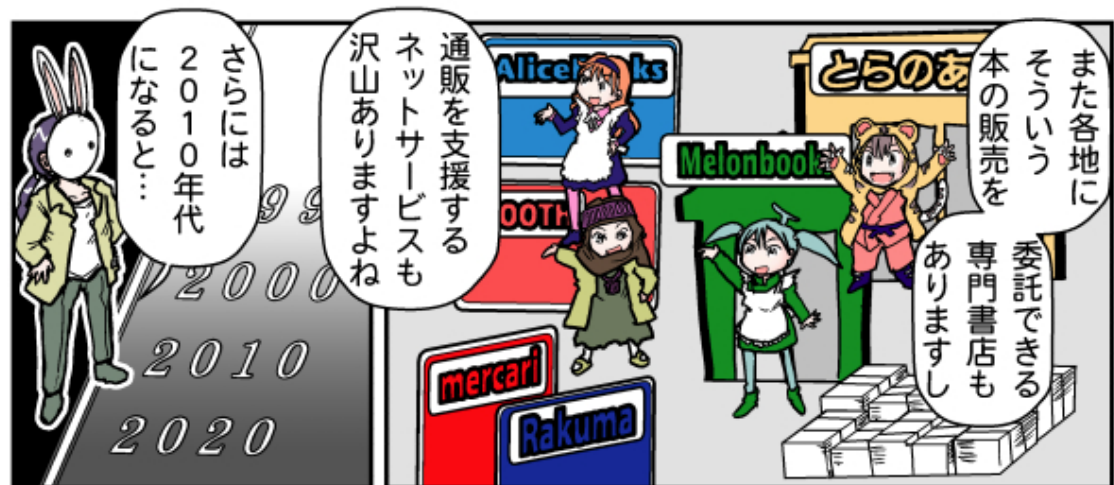
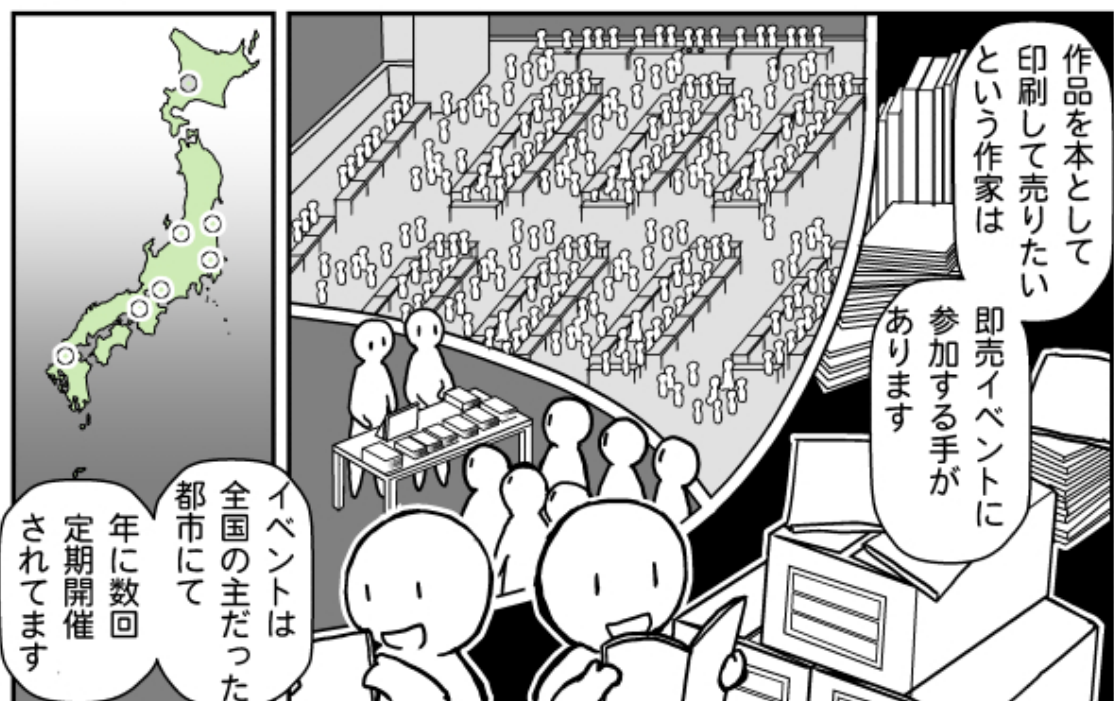
なかせさん



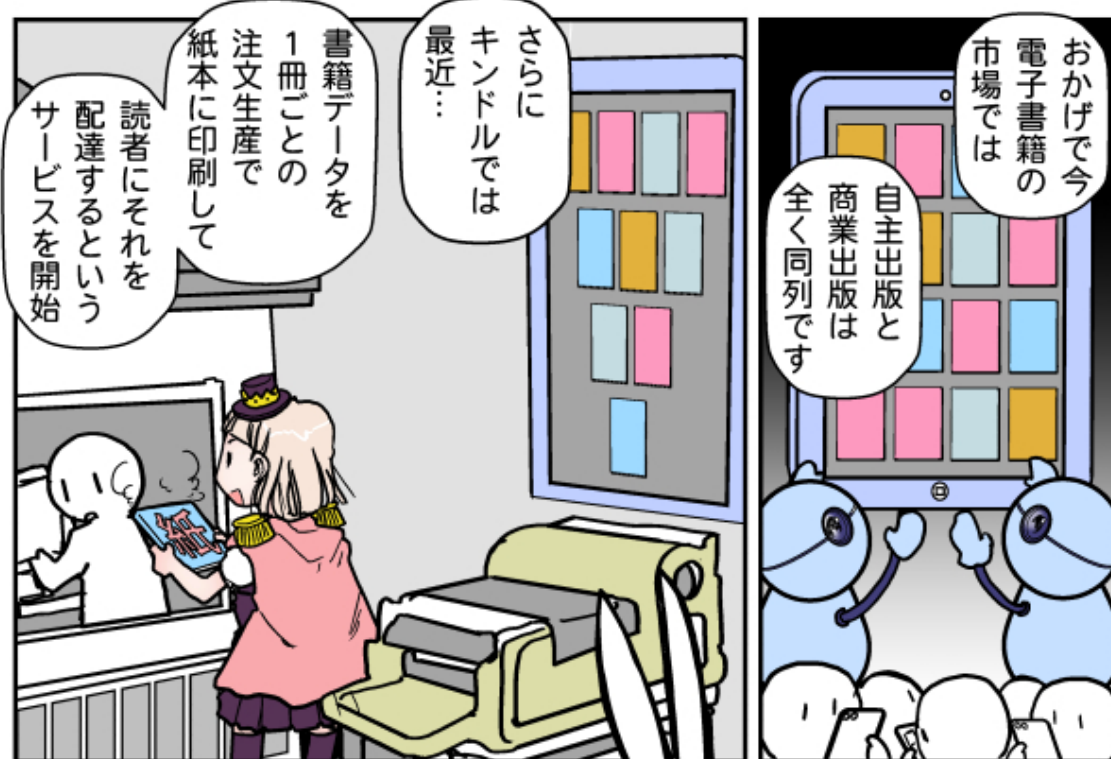
1 商業出版に並ぶ選択肢

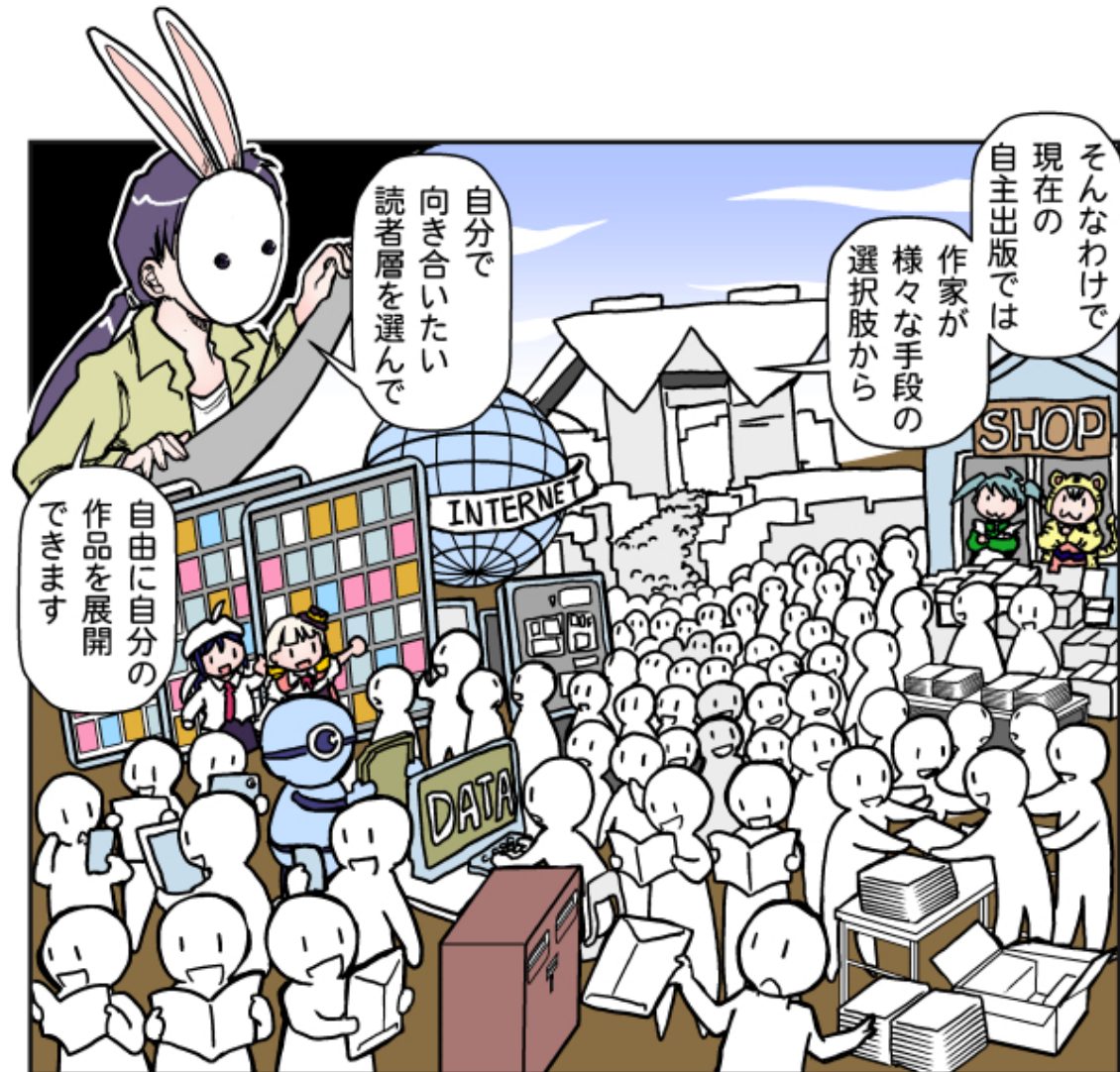




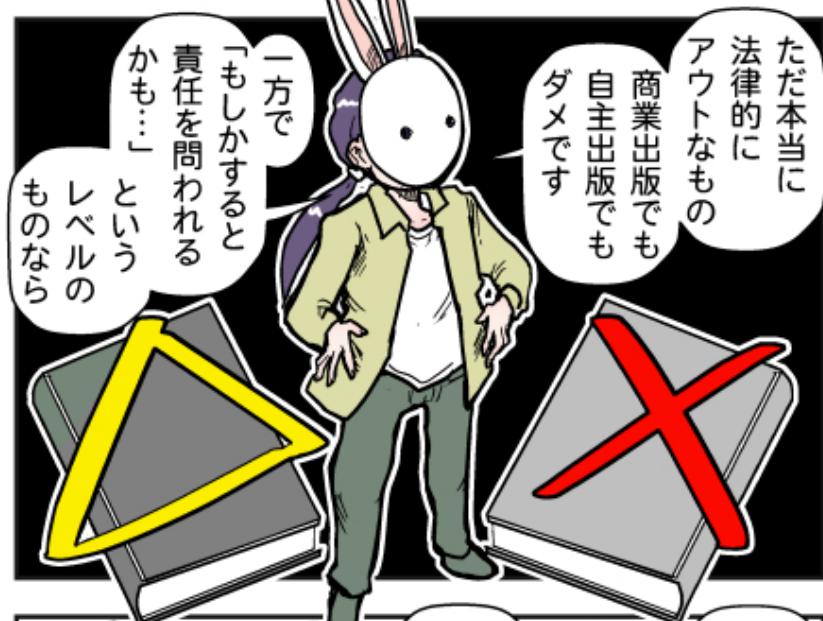


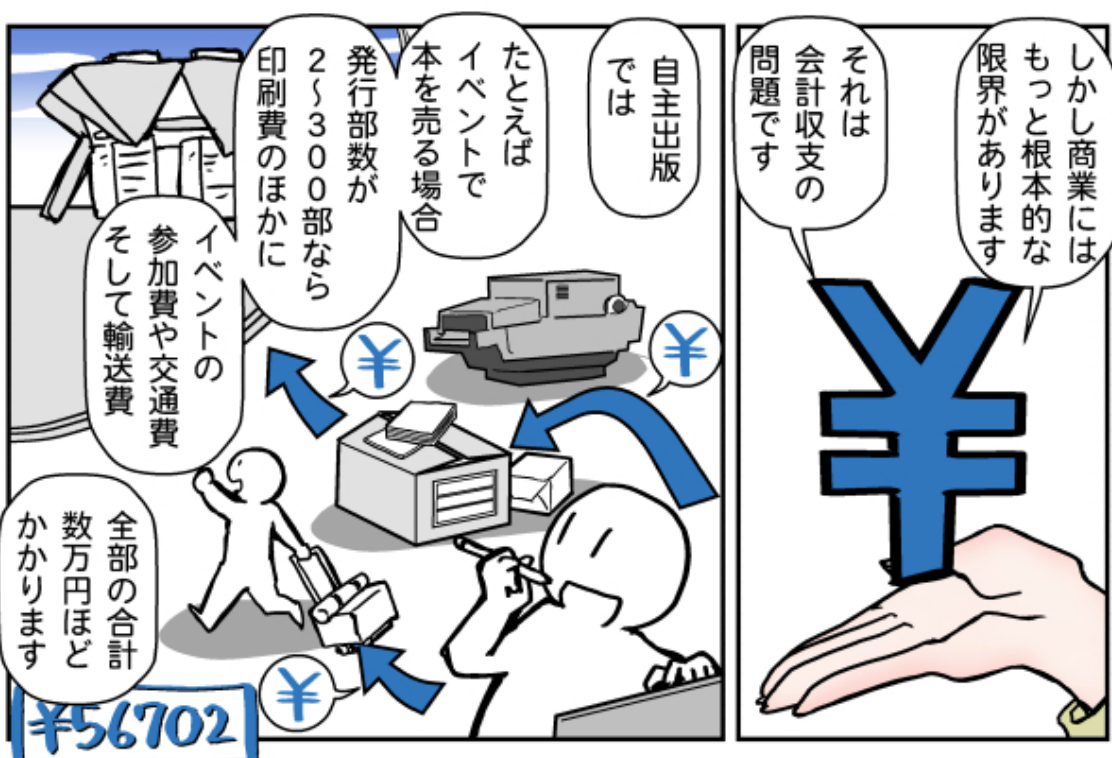






2 商業展開の限界と利点

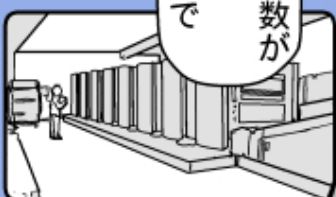




印刷費
作家の原稿料
編集
営業
輸送
販売

人件費
+ 実費

かかる経費は
実費と人件費を
含め：数百万円



一方で
商業出版では
たとえば
紙の月刊誌を
出す場合は



この雑誌の
販売で収益を
得ますが

実はマンガの
紙雑誌の多くは
収支が赤字です

この赤字を

商業出版の雑誌は
単行本の販売収益で
補填してます

赤字



逆にその2本が
なければ雑誌は
廃刊になり

関わってる
作家たち全員が
収入を絶たれます

これが雑誌の
死活問題の
ラインです

大雑把に
状況を
説明すると

2

単行本が売れる
連載が2本あれば
雑誌の会計は
ギリギリ回せます



